

六甲カトリック教会 教会報

2024

6

No. 630



預言者としてのわたしたち

助任司祭 渡辺 徹郎, s. j.

今月は預言者についてみなさんと考えてみたいと思います。というのも、今月は洗礼者ヨハネの誕生（6/24）を教会がお祝いするからです。（ちなみに教会が暦の上でお誕生日をお祝いしている人物はイエスさまとマリアさま、そして洗礼者ヨハネだけです。）

洗礼者ヨハネとは、イエス・キリストによる救いを準備するために、神によって選ばれた預言者です。「預言者」とは「予言者」ではありません。「予言者」とは未来の出来事を告げる者ですが、「預言者」とは神のことば・意志を預かり、それを人々に伝える者です。聖書のなかに数多くの預言者が登場しますが、彼らは神のことばを預かる者として、貧しい人々やしいたげられた人々の側に立ち、社会の不正にも声を上げました。なぜなら、彼らは共感力にとっても優れていて、他者の痛み、そして神の痛みを自分の痛みのように感じ取ることのできる人たちだったからです。苦しむ人を放っておくことはできません。しかし、預言者は「不都合な現実」を徹底的に指摘するために人々から疎まれることもしばしばありました。



それでは、聖書に登場するそのような預言者と六甲教会のわたしたちとどのような関係があるのでしょうか？ 実は、わたしたち一人ひとりが預言者として生きる使命を受けているのです。これは「信徒の預言職」といわれ、第2バチカン公会議の『教会憲章』（1964年）に「生活のあかしとことばの力をもって、父の国を告げ知らせた偉大な預言者キリストは、栄光を完全に現す時が来るまで、自分の名と権能によって教える聖職位階だけでなく、また信徒を通して、自分の預言職を果たす」と書かれています。つまりキリストは私たち一人ひとりを通して、預言者としての働きを果たしているのです。

現代において預言者として生きるヒントは聖書の中に登場する預言者の共感力にあります。預言者にとって、「小さくされた人々の痛み＝神の痛み＝自分の痛み」でした。私たちもその共感力をもって小さくされた人々の側に寄り添い、声なき者の声となり、社会の不正に対して勇気をもって声を上げるとき、預言者となることができるのだと思います。しかし、それは聖書の中の預言者たちが経験したようないばらの道でもあるでしょう。私たちに与えられている預言者としての召命は、信仰が社会的な次元を含むことを思い起こさせてくれます。



大魚の中の預言者ヨナ

「ミドルな神父とキリスト教FAQ」というコーナーを六甲教会のX(旧 Twitter)アカウントで担当しています。キリスト教についてよくある質問に答えるという形式です。質問は随時募集中ですので、気軽にお声がけください。Xでのフォローも大歓迎です。(渡辺徹郎)

2024年度 第1回小教区評議会 議事録（要約）

日時：2024年5月12日（日） 11:30～13:30

場所：信徒会館 第1、第2会議室

出席者（敬称略）：英主任司祭、堤議長、松井・荏原両副議長、岩谷・中村 両書記、中西（典礼部）、松平（宣教・養成）井川直（地区会）、井川伸（社会活動部）、久本*（施設管理部）、小田（壮年会）藤井（婦人会）、蛭田（三日月会）辻原（教会学校）、宗行（財務）、大上（広報部）各コーディネータ（*：代理）

1. 英主任司祭の挨拶

- ・事務所は一人退任、現在2人体制
- ・会計係は本来2名のところを正式な担当者が現在1名のみ。あと1名は不在の状態。
- ・お花係は解散、基本的に業者に委託。
- ・神父の役割分担。主に若年層を渡辺神父、それ以外は英神父が関わる。
- ・墓地委員会は小教区評議会からは独立していることを確認した。
- ・信者の高齢化のため、シノダリティ（共に歩む）の精神に則り「無理をしない、身の丈に合った活動」を行う。

2. 報告事項

1) 典礼部（中西）

復活祭関連：コロナ禍以降はじめてもとのかたちの典礼祭儀が出来た。受難の主日では300本の枝が足りないほどの出席者、聖木・金は昨年比べて微増、復活徹夜祭は昨年より少なかった。復活の主日は洗礼式があったこともあり400人以上の出席者があった。過越の三日間の典礼開始時刻については要検討。

2) 広報部（大上）

新版「教会のしおり」について：主に転入者、新受洗者に配布する。外部用には三つ折りパンフレットを渡す。

3) 施設管理部（久本）

イグナチオホールのトップライト部の漏水対策工事を行う。（5月13日）

4) 壮年会（小田）10月19日の教会遠足は徳島教会へ、ミサと交流会を予定。

5) 地区会（井川直）

各地区交流会の方針、とくにバザーについての意見交換を行う。

3. 協議事項

1) 《基本方針：「シノダリティの精神を活かした“ともに歩む”教会とする》》

この方針に伴い、具体的には以下の点を実践していく。

①身の丈に合った活動と交流 ②大きなイベント→小さな集い・小さな試み

バザーの見直し：議長団より、蚤の市と衣料品販売を中止し、社会活動部（第1会議室）、中高

生会・教会学校（イグナチオホール）に集約していくのはどうかという提案があった。蚤の市と衣料品販売を中止すると集客が期待できず、福祉団体等の販売が減少するなどの問題が指摘され、PJ（プロジェクト）チームを立ち上げ、どのようなバザーができるか、改めて検討することとなった。

2) シノドスの集い

8月25日（日）に「シノドスの集い」を開催する。シノドスの集いでは、今年度の方針、教会の現状、問題点を全員で共有するとともに意見聴取を行う。

3) 三日月会の役割（蛭田）

会員は約600人、参加は40人～100人くらいか。高齢者ケアと親睦・交流活動を広げていく。

4) 5月～8月の行事確認

- ・神戸地区東ブロック主催の教会奉仕者養成講座（中西）5月から奇数月に開催、5月26日中央教会、以後持ち回りで7月28日は六甲教会で。六甲からの参加者は7人。
- ・6月9日（日）11時から年次報告会、活動・計画報告、会計・予算報告。質疑応答。当日予定の地区役員会は年次報告会のあとに開催。（英神父）
- ・転入者・新受洗者のための説明会 6月16日（日）11時から開催（英神父）
- ・平和を祈る集い（松平）8月11日（日）14時から ルワンダで義足を作っているルダシングワ 真美さんのお話を聴く。

- ・侍者練成会（中西） 今年度第1回目7月14日（日）第2回目7月21日（日）いずれも13時から
 - ・教会学校活動予定(辻原)
 - 6月2日(日) 遠足
 - 7月27日(土) キャンプの準備会 7月28日(日) キャンプの準備会、リーダー研修会
- なお、9月29日に予定の防災セミナーは聖体奉仕者養成講座と重なるため日程変更する。
- その他各部会・各部からの報告

- ・広報部（大上）

教会報の本文は12ポイントが基本だが、原稿の分量が多いときはポイントを小さくすることがあり読みづらいときがあるかも知れない。内容が教会報の役目や趣旨に沿うかどうかは適切に判断し、問題があれば主任司祭に相談している。小教区評議会議事録は要約しているが、信徒の皆さんに教会の在り方や方向性を知っていただくため報じている。ホームページにも教会報を毎月アップするので、その際は個人情報、財政内容などはカットしている。

第2回小教区評議会 2024年7月14日（日）11:30より 信徒会館第1、第2会議室にて

2025年の聖年を布告する勅書「Spes non confundit スペス・ノン・コンフンディト」が発表されました。

「聖年」は、旧約聖書の「ヨベルの年」（レビ記25章）を背景として、教皇ボニファティウス8世が1300年に決めました。一定の条件を満たす信者に免償や特別なゆるしが与えられるほか、さまざまなレベルでの和解や社会正義の実現を呼びかけ、祈る年です。当初は100年ごととされましたが、やがて50年ごとになり、1470年にパウルス2世が25年ごとに祝うと定め、現在に至っています。通常の聖年のほか、特定の意向のために行われることもあり、2015年から16年にかけて祝われた「いつくしみの特別聖年」は、記憶に新しいところです。

教皇フランシスコは、バチカンで主の昇天を祝った5月9日に、2025年の聖年を布告する勅書「Spes non confundit スペス・ノン・コンフンディト」〔希望は欺くことはありません（ロマ書5章5節参照）〕を発表されました。この勅書のドイツ語・アラビア語・スロバキア語・スペイン語・フランス語・英語・イタリア語・ラテン語・ポーランド語・ポルトガル語の各言語版は、すでに聖座のウェブサイトに掲載されています。日本語版は現在翻訳中とのことですが、概要をバチカンニュースの日本語ウェブサイトを読むことができます。

2025年の聖年のテーマは「希望の巡礼者」です。カトリック中央協議会のホームページには「2025年聖年」という特設サイトが作られており、聖年を告知した書簡の全文・聖年の日程表・聖年の祈り・聖年のロゴ・公式聖歌などが掲載されています。

すでに発表された聖年の主な日程は以下のとおりです。

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 2024年12月24日 | バチカンの聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」が開かれ、聖年開始 |
| 12月29日 | ローマラテランの聖ヨハネ大聖堂の「聖なる扉」が開かれる |
| | すべてのカテドラルにおいて、教区の司教は聖年の荘厳な開幕として |
| | 所定の式次第に従いミサを献げる |
| 2025年1月1日 | ローマの聖マリア大聖堂の「聖なる扉」が開かれる |
| 1月5日 | ローマの城壁外の聖パウロ大聖堂の「聖なる扉」が開かれる |
| 12月28日 | 聖ペトロ大聖堂以外の「聖なる扉」がこの日までに閉じられる |
| | 地方教会での聖年終了 |
| 2026年1月6日 | バチカンの聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」が閉じられ、聖年閉幕 |

1月21日の「神のことばの主日」に、教皇フランシスコは2024年を「祈りの年」とすることを宣言し、「これから数ヶ月後、聖なる扉が開かれ、聖年が始まります。この恵みあふれる聖年に備えられるように、また神の希望の力を経験できるように、さらに祈りを深めてください」と呼びかけました。私たちがこの呼びかけに応え、聖年に向けて自身の心を準備していくことができますように。（典礼部 中西 裕樹）

私の好きな聖書のことば

ヴィアンネー 塚崎 雄一



伝道の本 すべてのわざには時がある

「天が下のすべてのわざには時がある」で始まる旧約聖書『伝道の本』を、母が毛筆で写した額を壁に掛けている。この句を選んだ理由は享年 99 の祖母のお気に入りであったということだ。

初めて『伝道の本』を読んだのは学生の時。日常に転がっている風景「笑うに時があり、抱くに時があり…」などの羅列に奇異を覚え「楽しく愉快に過ごすよりほかに良いことはない」と結ぶ、ケセラセラな物言いに面食らった。

私が二十歳でキリスト教の洗礼を受けたのは、二人のイエズス会士ティヤール・ド・シャルダンとディーターズ先生との出会いによる。

ティヤールは、ダーウィンの（生物の）進化論を（宇宙の）時空に広げて探求し、第二次大戦後の欧米哲学・宗教界に多大な影響を及ぼした科学者である。ディーターズ青年は、戦後日本文学を世界に紹介したドナルド・キーンの後輩として日本語の集中特訓を受けた。後日イエズス会に入会してからの日本派遣に繋がった。私の大学入学と同時にディーターズ先生も講師として赴任された。後に彼の誘いで私は神戸で数学教師になった。先日白寿（99 歳）で亡くなるまで支えていただいた生涯の師である。キャンパスを歩いている先生を見かけた多くの国の司祭たちが親し気に近づき、談笑する光景が強く印象に残る。この様子は壘上の大谷翔平に思わず近づく対戦相手の選手や審判たちと似ている。先生に時に愚痴をこぼす度に沈黙が流れた。そっと顔をのぞくと、催眠術をかけられたように寝込んでいた。

白寿の祝いで、彼の教え子、今は後期高齢者の同期の連中、と亡くなる少し前に訪ねた。別れ際、居住まいを正した先生は「残されたこれからの時を、みなさん、どうか大切にしてください」とゆっくり言葉をかみしめ我々を励まされた。後ろを振り向くと、ドアの向こうで車椅子の神父が笑って手を挙げている。私は笑顔で激しく手を振った。

.....
編集部注：「伝道の本」は新共同訳では「コヘレトの言葉」になり、冒頭のことばは第 3 章 1 節に対応します。

≪ 三日月会総会と親睦会 ≫

5 月 15 日（水）10 時から「総会と親睦会」を行いました。40 名の方に集まっていたいただき、ごミサの後の総会終了後、英神父様に「これからの三日月会活動への要望」についてお話をいただきました。

神父様のお話の趣旨は、「この教会において、70 歳以上の高齢者が多く、まだ元気な方がたくさんおられる。小さな集いでもいいので、週に 1 回（平日）程度シルバーが集まれる企画と、教会に来られない高齢者のケアも考えていただければありがたい」との要望がありました。

神父様のお話を受け、参加された皆様からの意見をしばらく聞き、アンケートも取りましたが、アンケートの中では、月 1 回平日の午前に、「茶話会」、「健康をテーマにした集まり」「スマホ教室」そして「趣味の集い（将棋、手話ソング、絵手紙など）」といった意見がありましたので、年に 5 回の例会以外に、小さな集いとして、これらのことを実行に移せるように検討していきたいと思えます。また高齢の病者へは、「聖体の届け」や「傾聴」ボランティアなども併せて考えていくつもりです。三日月会の皆様、どうかこれからも積極的なご参加をお待ちしています。



（三日月会会長 蛭田 武）

≪ 図書室からのお知らせ ≫

2024年5月に英主任司祭から図書室に頂いた本

- ☆ 十字架の聖ヨハネ詩集 ルシアン・マリー（編著） 西宮カルメル会訳注 新世社
- ☆ ロヨラのイグナチオの神秘体験 田辺 薫（著） 南窓社
- ☆ 現在(いま)のメメント・モリ キリスト教における死生観 酒井陽介・原敬子（編） キリスト新聞社
- ☆ 天国のぴよちゃんからの贈りもの～いのちの花束をあなたへ～ こもれび ゆう（著） 文芸社
- ☆ 私に啓示された福音 4(上・中・下) 5(上・下) 6(上) マリア・ヴィルトルタ（著） 天使館
- ☆ 聖母マリア 上・下 ガブリエレ・マリア・ロスキーニ（著）/澤田和夫（訳） 天使館
- ☆ 神の恵みの演奏者 ヘルマン・コーヘンの生涯 福岡カルメル会（編） 聖母文庫
- ☆ いのちの泉のほとりにて 三位一体のエリザベト 伊従信子（著） ドン・ボスコ新書
- ☆ 聖霊とエウカレスチア ラニエロ・カンタラメッサ（講話）/澤田和夫（訳） サンパウロ
- ☆ 隠れた生活 エディット・シュタイン（著）/山田浩子（訳） 男子蹴足カルメル会
- ☆ 霊的な人々の母 イエスの聖テレサ トマス・アルバレス（著）/松田浩一（訳） サンパウロ
- ☆ 神との一致 ドム・マルミオン（著）/山下房三郎（訳） ドン・ボスコ社
- ☆ 死後の世界を見つめて～キリスト者にとって「あの世」とは～
F. X. デュルウェル（著）/泰阜カルメル会修道院（訳） サンパウロ
- ☆ 罪びとのチャンス ヴィクトール・シオン（著）/福岡カルメル会（訳） 女子パウロ会
- ☆ 十字架とよるこび マルタ・ロバン レイモン・ペレ（著） 愛と光の家
- ☆ 無神論から殉教へ エーディット・シュタイン ペトロ・アロイジオ（著）
- ☆ ロザリオの秘密 聖グリニョン・ド・モンフォール（著）

※ 図書の配置替えが進行しつつあります。皆様方のご希望やお気づきの点などをお知らせくださると幸いです。

ハッピーカフェに集まろう！

六甲教会では学生（院生含む）のための「ハッピーカフェ」を6月28日18時より信徒会館1階で開きます。

- 参加費 300円。締切は6月23日。
- 希望者は以下のフォームでお申込み下さい。

・ハッピーカフェ参加申し込みフォーム
(Happy Cafe application Form) は以下で。
<https://forms.gle/gTUyfAxPrXSkB1Hd6>

簡単な食事とソフトドリンクを用意、アレルギーにも対応と、きめの細かい配慮も。

チラシには英語版もあり、国際色も期待しています。

渡辺神父さまの肝いりです。



みんなでごはんを食べよう

ハッピーカフェ

対象：大学生（院生含む）

6/28(金)18:00～19:30
(予約は Google Form から)
場所：六甲カトリック教会1階

ハッピーカフェは、大学生と一緒に食事をする「場」です。一緒にごはんを食べましょう！
プロの歌手によるライブ演奏もあります♪

参加費：300円（食事代含む）
※アレルギー等のご連絡は申し込みフォームにて

申し込み：Google Formsにて
締め切り日：6/23

QRコード

連絡先：ハッピーカフェ準備委員
happycafe20240512@gmail.com

《ガラシャ巡礼の旅 5月25日 ～日帰りバスツアーは晴天に恵まれて～》

六甲カトリック教会の今年の巡礼の旅は、細川ガラシャとその時代～戦国時代の殉教者に倣う～をテーマに第1回が実施されました。今回の旅では、坂本城（城址公園）、崇禅寺、玉造教会の3か所を訪問しました。

一行34人は、まず、琵琶湖西岸の坂本城（大津市下阪本）を目指しました。資料では、坂本城は明智光秀の築城による豪壮華麗な城だったとのことですが、城跡など遺構はほぼありません。ガラシャ夫人は玉子と呼ばれた少女時代をこの地で家族と過ごしたと言われます。城址公園の光秀像を視界に入れつつ、一行は波打ち際に下り立ち、玉子が見たかもしれない湖の風景を眺めました。その時、英神父様が、「琵琶湖はガリラヤ湖の風情に似ている」と言われ、実際に見たことがある人も彼の地をまだ訪れたことのない人もイエス様とのつながりを思い、共に祈りを献げました。



玉造教会のガラシャ像

昼食後は大阪市内に向かい、東淀川区の崇禅寺を訪れました。細川家の大坂屋敷が焼け落ちた後、宣教師オルガンティーノが玉子の遺骨を拾ってここに納めたという墓があります。（写真右上）。



崇禅寺のガラシャ夫人の墓（正面左側）。写真は墓所の全体像で、右は室町幕府第6代将軍 足利義教の首塚。ガラシャ夫人の戒名は秀林院華屋宗玉大姉。夫人の菩提寺はこのほかに2か所あり、そのひとつには夫忠興と並んで墓が建てられている。

最後に、カトリック玉造教会を訪問しました。ここにはガラシャ夫人の最期の地となった、夫細川忠興が邸宅を構えた細川邸跡があり、教会から徒歩5分のところにはその「越中井（戸）」（台所）もありました。玉造教会のカテドラル小聖堂で英神父様の司式によるミサを献げ、六甲教会には5時半に戻りました。訪問した先々で心を合わせてお祈りを献げた一日でした。

今回、この巡礼のために用意された詳細なパンフレットが旅の始めに配られ、ガラシャ夫人の信仰に殉じた生涯やその時代背景の理解を大いに助けてくれました。

次回第2回巡礼は2025年5月に1泊2日の旅を予定しており、明智神社（福井県東大味）、宮津城址（宮津市）、味土野（京丹後市）を訪れます。

カトリック教会は、毎月、「教皇の祈りの意向」を示し、教会全体が日々の祈りの中で、その意向に基づいて祈るように招いています。6月の祈りの意向は「祖国から逃れる人々」です。次のように祈りましょう。

「戦争や飢餓から逃れ、危険と暴力に満ちた旅路を余儀なくされた移民が、受け入れ国で歓迎され、新しい生活の機会を見出すことができますように」

【編集後記】

◇ご覧のように今月号の巻頭は渡辺神父が執筆されています。今後、英主任司祭と隔月に巻頭言を担当されます。若々しい感性に期待がふくらみます。

◇6月はもう初夏です。紫陽花（アジサイ）や杜若（カキツバタ）、山梔子（クチナシ）の花が咲く季節でもあります。どんな花にも漢字を当てる日本語の妙。ミサには「弥撒」なんて字を当てています。（余）

教会 SNS チームは、フェイスブック、インスタグラム、X（旧ツイッター）YouTube チャンネルで配信しています。「六甲カトリック教会」で検索してみてください。

【2024年6月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
キリストの聖体 手話付きミサ 10:00 教会学校遠足 祈りと音楽の集い 14:00 ◎日曜班					イエスのみ心 ミサ 7:00 10:30 聖体礼拝 10:00	社会活動部炊出し
9	10	11	12	13	14	15
年間第10主日 年次報告会 11:00 地区役員会（年次 報告会終了後）	☞ 年次報告会はミサ後引き続き主聖堂 で行われます。所要時間は1時間以内で終 わります。				◎灘北1・ 北三田	
16	17	18	19	20	21	22
年間第11主日 新受洗者・転入者 説明会 10:00 ミサ後		19日の教会事務は午前中 のみ（9～12時）です。			◎大阪シナピス 定期清掃	春の黙想会 10:00～
23	24	25	26	37	28	29
年間第12主日/聖ペト ロ使徒座への献金 子どもと共にささげる ミサ 10:00 幼児洗礼 10:00 ミサ中 施設管理部会 11:30	洗礼者 聖ヨハネの 誕生				◎灘北2・阪神	聖ペトロ聖パウロ 使徒 パウロ酒井俊弘 補佐司教霊名 教会学校休み
30						
年間第13主日 教区宣教司牧者 評議会 14:00～		◎印は掃除当番地区（午前7時時点で気象警報が発表され た場合は中止です。）				

次回7月号の発行は6月29日（土）です。
原稿は毎月15日ごろまでに、教会受付へご持参
いただくか、FAX、メールでお願い致します。
(renraku@rokko-catholic.jp)

皆さまからのご寄稿をお待ちしています。

六甲カトリック教会
〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21
電話 078-851-2846
FAX 078-851-9023

<http://www.rokko-catholic.jp>

発行責任者 英 隆一朗
編 集 広 報 部